

# ふるさと応援 就労体験

礼文島の暮らしを体験・島民の皆さんと交流を深める、就労活動の内容の一例です。活動の内容は、季節や時期、天候によって変更となります。

## 漁業チャレンジ

### 魚の網はずし (四季の魚介類)

網にかかった魚を外します、時期によって獲れる旬の魚が違うので楽しめます。

### 昆布干し (天然・養殖昆布)

礼文島特産品「昆布」の干し作業。質の良い昆布は取れてから干すまでが勝負！日の光をたくさん浴びて美味しい昆布となります。



## 水耕栽培

### (セラミック式水耕栽培)

施設内で運営している水耕栽培。気象条件に左右されない野菜栽培のお手伝いです。



## 施設維持

### (道場及び公園維持作業)

隣接する緑ヶ丘公園や観光施設などの維持作業のお手伝いをします。



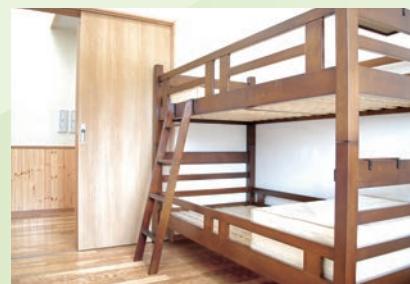
# 礼文番屋

## -施設内詳細-

### -礼文番屋について-

建物内部は木のぬくもりを感じる造りで各お部屋や炊事場・シャワールーム、コインランドリーがあります。食堂ホールは他の宿泊者や島民との談話コーナーにもなっておりますので、礼文島での就労体験をお楽しみ下さい。

礼文番屋は、2棟から出来ています。宿泊館には、就労体験をする方が安心して過ごせる生活用品、設備を各種取りそろえております。



### 礼文番屋 施設内設備

1 館【管理館】…作業場、休憩室、事務室他

2 館【宿泊館】…宿泊部屋、キッチン、ダイニング、シャワー室、ランドリー他

個人部屋… 3室 ベッド、机、ロッカー

団体部屋… 3室 ベッド×4、ロッカー、押入れ

※食事は自給自足制となっております。キッチンや食器、冷蔵庫などの利用は無料。  
※トイレ、シャワー室は共同利用となっております。

## ふるさと応援体験道場 礼文番屋へのご利用詳細

### 施設利用の条件

礼文町での体験ボランティアをする者。施設内は原則禁煙。

### 施設への申請方法

利用希望日が決まりましたら、電話にて申し込みしてご予約してください。なお申請書はチェックインの際に提出していただきます。

### 施設の利用期間

5月1日～10月31日

### 施設の利用日数

7日(7泊8日)から6ヶ月以内

### 施設利用料金

利用者	金額	摘要
大人 (中学生以上)	45,000円/月	3ヶ月以内
	30,000円/月	3ヶ月を超え6ヶ月以内

備考 1. 利用料金には光熱費も含まれます。その他の費用は利用者負担となります。  
2. 利用料金は、1ヶ月分毎の前納となりますが、利用日数が1ヶ月に満たない場合は、日割計算になります。また、月の途中から利用の当月分は、利用を開始する日に納付していただきます。

### アクセス

北海道礼文郡礼文町大字香深村字カフカイ972 1143番地  
香深港フェリーターミナルから車で約15分(路線バス有り)

ふるさと応援体験道場  
礼文番屋

香深港ターミナル



## ふるさと応援・体験道場 礼文番屋へようこそ。

ふるさと応援・体験道場「礼文番屋」は、  
礼文島でのボランティア活動などを通し、島民の皆さまとの交流を深め、  
やがては礼文島の暮らしへと回帰する機会を提供する目的で誕生いたしました。

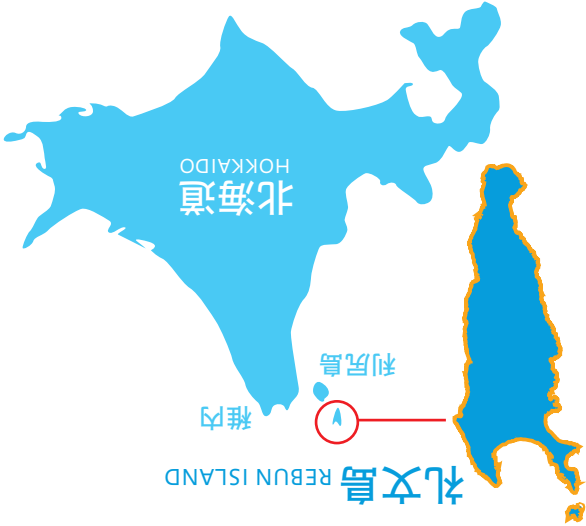
“礼文島の暮らしを体験したい”“礼文島の役に立ちたい”

礼文島ご出身の方や、その同伴の方、そして島での生活に興味のある方を対象に、  
格安で宿泊施設および体験プログラムの提供をさせていただきます。

東京礼文会有志

佐々木 吉夫

空路 東京(羽田空港)→稚内空港(約2時間30分)  
海路 稚内市(香深港)からフェリーで約2時間  
(フェリー) 稚内市(香深港)からフェリーで約45分



あなたも  
ぜひ  
体験  
したい  
ふるさと

礼文町ホームページ <http://www.town.rebun.hokkaido.jp/>

◆最寄りの都市…稚内市・利尻島(利尻町、利尻富士町)  
◆人口…約2,400人 ◆面積…81.33 km<sup>2</sup> ◆年間平均気温…6.5度

【日本海に浮かぶ最北の島で固有の自然環境による高山植物の宝庫であることから別名「花の浮島」と呼ばれています。

北海道礼文郡礼文町

(11~4月) TEL 0163-86-1001  
(建設課) FAX 0163-86-1007

TEL/FAX 0163-85-7131 (5~10月)  
<http://www.town.rebun.hokkaido.jp/>

ふるさと応援・体験道場 礼文番屋への  
ご予約、ご相談は…



ふるさと応援 体験道場

# 礼文番屋

会いたかった。この島に……

礼文島を離れてからずっと里帰りしてない。  
家族に父さん、母さんの故郷を見せたいけど、  
経費もかかるし、島には実家もなく親戚もない。  
何か、きっかけがあれば……

そんな思いを持つ礼文島出身の方、そしてそのご家族の方が、一人でも多く  
ふるさとを訪れていただきたい。そんな願いから、この「礼文番屋」は誕生しました。  
ふるさとを離れ、各地で暮らす礼文島出身の方が、再び礼文島を訪れる機会となりたい。  
体験ボランティアなど様々な活動を通して、ふるさとの今を  
体験していただくことができます。

もちろん礼文島出身以外の方でも、「礼文番屋」で、島の生活を体験して  
いただけます。ぜひ、日本最北の島・礼文島の魅力を発見して下さい。

ゆくゆくは、あなたが島と強い絆で結ばれますよう。

